

令和2年度
学校関係者評価報告書

令和3年4月
学校法人すみれ学園
四国医療福祉専門学校

1 学校関係者評価委員

委員

野崎 泰博 委員長(元高等学校校長)

山口 吉英 委員 (特別養護老人ホーム愛生苑 施設長)

山田 能之 委員 (医療法人社団叶夢会 やまだ歯科クリニック トータルマネージャー)

小野 茂男 委員 (医療法人社団海部医院 透析室室長)

神原 良宏 委員 (本校卒業生)

筒井 眞美 委員 (本校在校生保護者)

学校

森 國夫 (校長)

小西 明弘 (事務課長)

鎌田 綱 (介護福祉学科専門課長)

定木 啓至 (医療事務学科学科長)

西岡 幹人 (臨床工学学科学科長)

水井 資道 (広報課長) (計12名)

事務局

小西 明弘(事務課長)、水井 資道(広報課長)

2 学校関係者評価の実施方法、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、学校関係者評価委員に自己点検評価の結果を各担当者より説明し、評価結果についてご意見をいただきました。いただいたご意見を本報告書の中に取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育の向上に努めることとし、ホームページに公表致します。

3 学校関係者評価委員会 開催日時

令和3年3月27日(土曜日) 10時05分～11時35分 本校1階大会議室

1.校長挨拶及び趣旨説明 森 國夫校長

2.学校関係者評価委員紹介 事務局

3.学校関係者紹介 事務局

4.自己評価概要説明

5.意見交換

自己点検評価の説明について、質疑応答や改善点の提案等について意見交換(別紙参照)

6.閉 会

別紙2

令和2年度 学校関係者評価委員会 質疑応答・意見内容

発言者	内容
山田委員	<p>医療事務学科で退学者が前年度の5名から0名となったことは、コロナ禍の中で大変な努力をされたのではないかと思う。</p> <p>また私達が経営している歯科医院にもこの学校の医療事務学科を卒業後、約7年間勤務している方がいる。先日も貴校から連絡をいただき、紹介ビデオの撮影に協力させてもらったようだが、本人は笑顔で報告してくれた。</p> <p>さらに2年前から勤務されている方は、採用直後には仕事内容が思っていたことと違うと感じて戸惑ったようだが、その際にもこの先生方に励ましていただき、現在は任せられる仕事の幅が広がっている。このように卒業後も関わりを持っていただいたり、サポートされていることはありがたいことだと感じる。</p>
野崎委員長	<p>退学者数は昨年度のこの委員会で課題に挙げていたが、今年度は減少している点や卒業後のサポートが継続されている点は評価出来るのではないか。</p>
小野委員	<p>学校運営はよく出来ていると感じる。</p> <p>当院でも臨床工学学科実習生の受入をしており、校内の授業で学べないことに触れてもらう為に、積極的に質問して欲しいと伝えているが、学校での授業の延長線上のような捉え方をしているように感じられ、このようなものかなと思う。</p> <p>また現在、この学校の卒業生が2名勤務している。非常に真面目で積極的に仕事に取り組んでもらっているが、やや研究に関しては物足りなさを感じることもあるものの、こちらが少しヒントを与えるときちゃんと取り組んでくれるので、やはり真面目さが一番かなと思う。</p> <p>逆に四年制大学の卒業生は仕事に対して甘く見ている部分があるのかなと感じる。これは4年間学んできたことで自信を持っているように思われ、この学校の卒業生とは取り組み方が違うと感じる。最終的には真面目に頑張ってくれる方が良いと思っている。高知県にあるこの学校の姉妹校の卒業生も勤務しているが、同じように真面目に頑張っているのので、この学園の教育方針が良いのかなと思う。他にも治験の関係でメーカーに報告が必要な場合があるが、この学校の卒業生は期日までにきちんと業務を行っており、ありがたい。</p>
野崎委員長	<p>学歴に関わらず、仕事に対する姿勢、人としての真面目さは必要ではないかと思う。森校長からも3つのポリシーを明文化することで、自分たちの教育のアプローチの方向性が見えたとおっしゃっていたが、真面目な人間を養成することに成功しているのではないかと感じる。</p>
神原委員	<p>よく運営されていることが理解出来た。在校生の時から学生一人ひとりに目を向けていると感じていた。私の職場にもこの学校の卒業生が勤務しているが、みんな真面目で利用者の方に対して何が出来るかを考えながら仕事に取り組んでおり、協調性もある。これはこの学校の教育の成果だと思う。</p> <p>コロナの影響で現場実習が出来なかった部分もあったと思うが、校内での実習にしっかり取り組んでいることが理解出来た。ただ、やはり現場実習はとても大切で、色々なことが見えてくると思うので、早く例年通り実習が再開出来ることを願っている。</p>

野崎委員長	個々に応じた教育が出来ている。またチームを組んで業務を行うことが重要な中で、それに対応出来る人材育成も出来ている。
筒井委員	<p>コロナ禍で子どもが自宅にいることが多く、親としては心配したが学校が再開されてからは、個別指導をしていただいたり、質問しやすい環境を作ってもらえたことは感謝している。</p> <p>就職活動については、二十歳になり学生自身が電話等で病院見学の申込を行うように指導することは理解出来るが、電話のかけ方などを含め、もう少し具体的に指導していただけるとありがたいと感じた。</p>
野崎委員長	<p>保護者の立場からすると、コロナ禍での学生生活は大きな心配ごとだと思うが、学校側よりさまざまな配慮があったのではないかと思う。</p> <p>就職活動について、今年度はキャリア教育に力を入れたとのことだが具体的にはどのようなことか？</p>
西岡学科長	<p>臨床工学学科では2年生後期から具体的にスタートしており、希望就職先などのアンケートを取っている。また電話のかけ方、希望する病院探しのコツも含めて指導しており、自分自身について考えてもらう時間も取っている。</p> <p>以前の保護者の方からのご意見の中で、2年次からの就職活動は早いのではないかと意見もあったので、今以上に早期化させることは控えている。</p> <p>今年度はコロナ禍の中での就職活動ということで、病院見学が出来ないなど、これまでとは違う状況であった。次年度は今年度の反省を活かして支援していきたい。</p>
定木学科長	<p>医療事務学科は就職活動の開始時期が他学科より早いですが、学生の意識が不十分な場合も見受けられる。こちら側からさまざまな手立てを行う中で、卒業生の講演会なども開催しているが、学生の姿勢を見ると、ややもどかしい部分もある。</p> <p>コロナ禍の中での就職活動ではあったが、求人数については特に影響はなく、11月には全員が医療事務スタッフの正規職員として就職決定した。</p>
鎌田専門課長	<p>今年度は最後の現場実習の実施時期が、コロナ禍の中で後ろにずれてしまったり、福祉施設の合同説明会もオンライン開催になったりして、苦勞する部分もあったが、個別の施設見学は受入れていただけた部分もあり、最終的にはある程度学生の希望する職場に就職が決まったのではないかと思う。次年度も学生個々に応じた支援をしていきたい。</p>
野崎委員長	<p>ありがとうございました。最後に学校運営を行う上で、改善点のご提案はありますか？</p>
山田委員	<p>我々も人材募集に苦慮しており、その中でSNSを用いている。運用方法については専門家の方からはさまざまな指摘を受けているのが現状である。また採用試験の際に、応募者と年代の近い現場職員との面談をすることを始めたが、このように若い方の感性も大切にして、学生募集の計画も行っていくべきではないかと思う。</p>

小野委員	臨床工学技士は仕事内容が幅広く、国家資格を取った後も、さまざまな専門認定資格の取得を促している。この学校の卒業生に対しても、そのような資格取得を支援してもらえるとありがたい。また卒業生にアンケートを取り、専門認定資格の取得状況を取りまとめて広報活動に活かすのもよいのではないか。
神原委員	就職活動を行うにあたり、やはり事前見学を行うようにしてほしい。また日常の授業以外にも学生個々に応じた支援を行えるような人材育成を行ってほしい。
筒井委員	SNSでの情報発信は私もよく見させていただいており、今度も続けてほしい。また香川県内の専門学校との連合会として、協力してイベントを行っていくことは良いことだと思うので、ぜひ実現させてほしい。
野崎委員長	コロナ禍の中で学習の質をいかに落とさないか。また就職支援がきちんとできるか。この2点はとても重要なことだと思うが、現状はきちんと支援が為されていると感じた。医療・福祉の仕事は命を預かる仕事であり、誇りと自覚のある学生を育ててほしい。
森校長	我々もコロナ禍の中で試行錯誤しながら運営してきた中で、外部の方から前向きなものも含め、率直に意見をいただけたことは、今後の学校運営に自信が持てた。本日いただいた意見をもとに、次年度に向けて改善する所は改善して取り組んでいきたい。